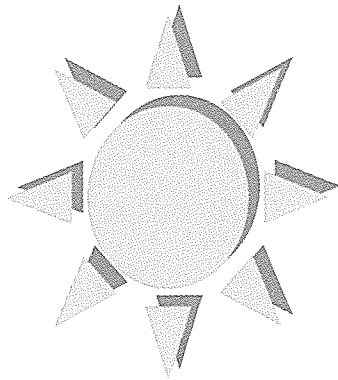


<p>福岡県保健福祉部健康対策課：たばこ知らずのヤングセミナー事業</p>	
<p>住所 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 (TEL)092-651-1111 内線 3129 (FAX)092-643-3271</p>	
<p>人口 記入無し (出生数 記入無し) 母子保健担当者: 事務、全保健師教 記入無し (母子保健担当保健師教 記入無し) 区分: 県庁</p>	
事業課題	<p>■思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</p>
事業の背景	<p>たばこには多くの有害物質が含まれており生活習慣病の危険因子にもなるが、喫煙が習慣化すると禁煙は困難なため、早期からの喫煙防止教育を実施することにより、生涯禁煙の動機づけを図る。</p>
提案者	<p>自治体の長</p>
事業のねらい・目標	<p>たばこ健康教室:幼稚園・小、中学校・高校等で生徒、保護者関係者にたばこの害について周知する。 たばこ健康ヤングセミナー:高校・短大・大学・専門学校女性の女性を中心に、健康、美容の面からたばこの害を周知する。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>
数値目標	<p>数値目標あり</p>
対象	<p>幼児 学童 思春期 父親 母親</p>
実施期間	<p>平成9年4月～未定</p>
実施内容	<p>講話・ビデオ・紙芝居等による、喫煙防止教育</p>
事業内容	<p>■既存事業の工夫</p>
協力機関	<p>保健センター・保健所 保育園 幼稚園 学校 大学・研究機関</p>
住民参画状況	<p>なし</p>
従事者内訳	<p>保健師 栄養士 医師 薬剤師 教員</p>
補助金・助成金	<p>団体</p>
事業の評価	<p>早期からたばこの害について周知することにより、喫煙防止を図ることができる。</p>

今後の課題	<p>若い女性で喫煙が増加する傾向があり、たばこの害について、周知する必要がある。</p>
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	<p>たばこ</p>
	<p>*** コメント *** 禁煙に関する取り組みは、早くから幅広く、そして漏れなくということが理想的である。福岡県では、幼稚園・保育園という早期からの取り組みを展開しており、早期介入の(継続的)効果は徐々にあらわれてくるだろう。今後は、若い女性の喫煙増加を踏まえ、女子に特化したアプローチの考案・実施が期待される。(KM)</p>

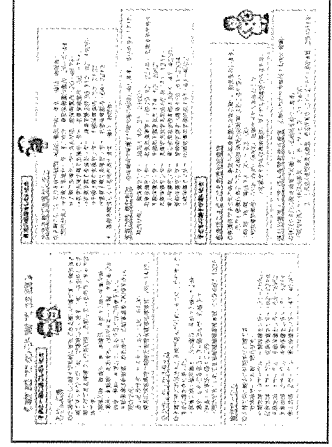


「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と
不妊への支援」



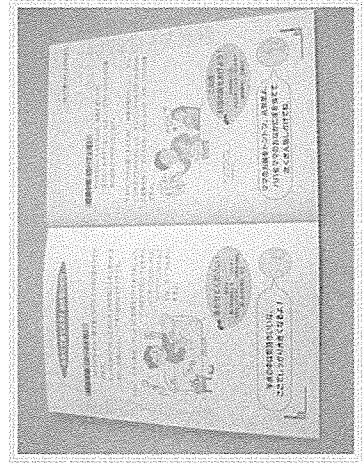
<p>一関保健センター 産後サポーター派遣事業</p>	
住所	〒021-0877 岩手県一関市城内1-46 (TEL)0191-21-2160 (FAX)0191-21-4656
人口	62,000人(出生数600人)
母子保健担当者・事務	保健師 栄養士、全保健師数17人(母子保健担当保健師数5人)
区分	市町村(保健センター等)
事業課題	<p>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</p> <p>当市における母子保健事業の実施により、出生時の母性相談から乳幼児期の月齢に応じた健康診査や育児支援事業、育児サークルの育成、予防接種事業など実施し対象者全員の利便を目指しているが、平成11年に子育て支援対策の充実を図るため児童育成計画「エンゼルプラン」を策定され、その中で家事に支障をきたしている家庭への支援を取り組むため、産後サポーター(助産婦や保育士、子育て経験のあるボランティア等)を派遣し、産後の健康管理と安心して子育てができるよう当事業を開始した。</p>
提案者	自治体の長
事業のねらい・目標	<p>出産直後、母親の体調不良等で育児や家事に支障をきたしている家庭に対し、育児支援のためのヘルパーを派遣することにより、出産後の体力回復・育児の不安の軽減を図り、精神的身体的に安定した状態で子育てできるようにすることを目的とする。</p> <p>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>
数値目標	数値目標なし
対象	新生児 妊産婦
実施期間	平成12年7月～平成16年3月 4年計画
内容	<p>対象 育児や家事などの支援を必要とする、概ね出産後1カ月前後の産婦と新生児。</p> <p>事業内容 1.保健師の訪問指導 2.サポーターの派遣「買い物や食事作り」「授乳や沐浴などの保育や育児への助言」</p> <p>利用回数 一人10回を限度とする。ただし、多胎の場合は15回を限度とする。</p> <p>派遣費用 1回あたり3時間以内で、1時間500円(半額補助)とする。</p> <p>特に留意したこと サポーター利用後に支援を要する為に一関市社会福祉協議会で実施している「保育サポーター」との連携を重視していること。サポーターの活用を、市民に制度そのものを周知すること。</p> <p>産後サポーターの養成・研修 年度中に養成及びフォローアップ研修を実施する。</p> <p>■人材育成の強化(研修等) ■その他(産後サポーターから保育サポーター(一関市社会福祉協議会)への連携が必要。)</p>

協力機関	子育て支援センター 地域のボランティア その他(民間の託児施設等)
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師 その他(産後サポーター(助産師、保育士、子育て経験の有るボランティア))
補助金・助成金	次世代育成支援交付金
事業の評価	
今後の課題	<p>1.常時対応が可能な産後サポーターの確保</p> <p>2.産後サポーターの利用から保育サポーターへの連携</p> <p>3.産後サポーター派遣事業の周知徹底</p>
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	産後 子育て
**** コメント ****	<p>出産後一ヶ月前後の母親と新生児の家庭を対象に、実際にヘルパーを派遣することにより、育児や家事、授乳や沐浴などの保育や育児の助言を行う制度である。ヘルパーとして助産師、保育士などの専門職以外に子育て経験のあるボランティアも参加しており、地域ぐるみの取り組みである。産後サポーターから保育サポーターへの連携、産後サポーターの養成講座やフォローアップ研修の開催など事業の質を高めるために必要な仕組みも整えられている点が評価できる。このような事業があれば、母親たちは気軽に支援を求めることができるであろう。(KT)</p>



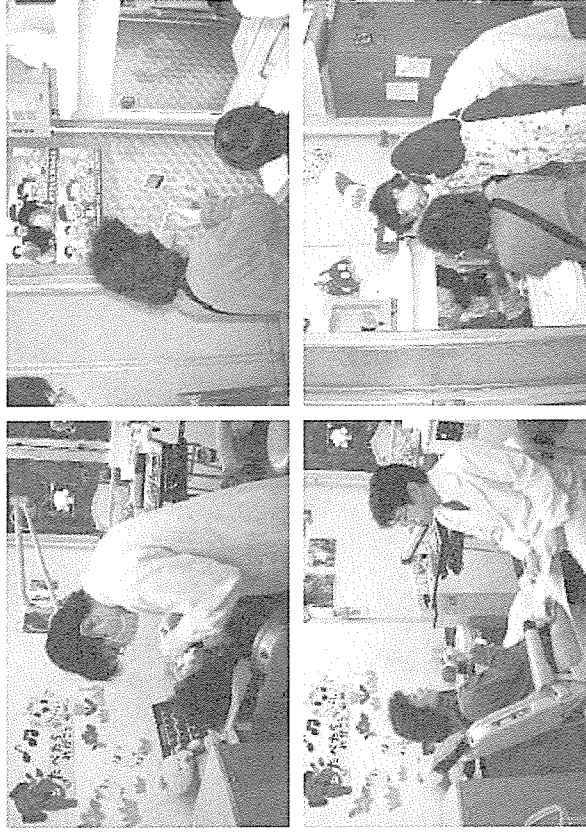
飯箱村保健福祉課：父子手帳の交付	
住所 〒960-1892 福島県相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 580-1 (TEL)0244-42-1619 (FAX)0244-42-1600 (E-Mail)jitate@soma.or.jp (ホームページ)http://www.villitate.fukushima.jp	
人口 6,744 人(出生数 53 人) 母子保健担当者：保健師、全保健師数 3 人(母子保健担当保健師数 1 人) 区分：市町村(保健センター等)	
事業課題	■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援
事業の背景	少子化対策
提案者	自治体の長
事業のねらい・目標	元気な赤ちゃんを産むために、父性を育てる。 父親の育児参加を支援する。 ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める
数値目標	数値目標なし
対象	父親
実施期間	平成 16 年 1 月 ～ 平成 20 年 3 月 5 年計画
事業内容	母子手帳交付日に保健師が交付する。胎児の数に応じて交付。 父親になる前の心構え、妻へのいたわり方、父親の子育て参加の方法を具体的にアドバイスする。父親から子へのメッセージ欄や写真コーナーを設け、父親自身が父性を育てながら作っていくオリジナル手帳。また、子が成長して手帳を見た時に父親に愛されて育ったことが伝われば、その子も将来暖かな家庭を築けるのではないかと、スタッフの願いが込められている。 ■個人支援や集団支援のツール開発
協力機関	その他(手帳作成時に様の聖母短大の教授よりアドバイスを頂いた)
住民参画状況	なし
従事者内訳	保健師
補助金・助成金	なし

事業の評価	平成 16 年度の 4ヶ月児健診受診者のうち、父子手帳を活用(メッセージ記入、写真添付)する割合 5.25% ほとんどの人が一度読んでいただけの状況
今後の課題	父子手帳は読んでいただけで活用するまでには至っていないが、家事・育児に協力する割合は 100%近く、乳幼児健診に付き添う父親や、日曜日の育児教室に参加する父親も多い。 父子手帳の活用状況で女性の育ち方を評価するのは難しいと感じる。しかし、父子手帳を有効に活用してもらったための方法は検討する必要がある。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	父子手帳
	***** コメント ***** 父性を育て、父親の育児参加を促すために父子手帳を作成し交付している。メッセージ記入や写真の添付という形での利用はなされていないようだが、家事・育児への協力、乳幼児健診や育児教室への参加の多さは、父子手帳の交付を通じてスタッフの願いが理解されている証拠である。有効に活用するための方法は今後の課題だが、父子手帳そのものが新しい試みとして評価できる。(KT)



<p>板橋区保健所健康推進課(板橋・上板橋・赤塚・志村・高島平健康福祉センター)：女性歯科検診</p>	
<p>住所 〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1 (TEL)03-3579-2313 (FAX)03-3579-2319 (E-Mail)ki-suishin@city.itabashi.tokyo.jp (ホームページ)http://www.city.itabashi.tokyo.jp/hokenjo/hosa.htm</p>	
<p>人口 507,409 人(出生数 4,246 人) 母子保健担当者：事務 保健師、全保健師数 53 人(母子保健担当保健師数 5 人) 区分：政令市・特別区(本庁・保健所等)</p>	
事業課題	<p>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</p>
事業の背景	<p>従来、妊産婦歯科検診を実施していたが妊娠する可能性のある層も含め健診の機会の少ない女性を対象とした。</p>
提案者	<p>その他(歯科衛生士)</p>
事業のねらい・目標	<p>将来も含め家族の要となる女性に歯の健康について理解してもらい、家族のよい生活習慣の基礎づくりの担い手となってもらう。</p> <p>■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する</p>
数値目標	<p>数値目標なし</p>
対象	<p>妊産婦 その他(15歳～34歳の女性)</p>
実施期間	<p>不明 ～ 未定</p>
実施内容	<p>対象者の設定について将来啓発も出来、自分や周りの人にもよい影響を与えられる年齢を設定した。 (実施期間に期限なし)</p> <p>■その他(記入なし)</p>
協力機関	
住民参画状況	<p>なし</p>
従事者内訳	<p>歯科医師 歯科衛生士</p>
補助金・助成金	<p>なし</p>
事業の評価	

今後の課題	周知方法
<p>取り組みの事業に関するホームページ</p>	
<p>キーワード</p>	<p>妊娠 出産</p>
<p>***** コメント ***** 妊産婦歯科検診は広く普及しているが、その対象者を将来妊娠の可能性がある15～34才女性にまで拡大した事業である。発想は斬新であるが、予防という観点からは的を射ている。思春期より女性を対象に啓発することで、個人だけでなく家庭全体への好影響も見込まれる。今後の成果が期待される興味深い事業であるが、高校生も対象となっており、実施方法や受診率等の現状に関する情報が見られる。(KT)</p>	



<p>寒川町保健福祉健康課：マタニティマーク普及事業</p>	
<p>住所 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山165 (TEL)0467-74-1111 (FAX)0467-74-5613 (ホームページ) http://www.town.samukawa.kanagawa.jp</p>	
<p>人口 47,000人(出生数 450人) 母子保健担当者：保健師・全保健師数 7人(母子保健担当保健師数 2人) 区分：市町村(保健センター等)</p>	
事業課題	<p>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</p>
事業の背景	<p>妊娠初期は外からの判別が難しく、また産後子育て中にも、社会が妊娠子育てに無関心という調査もある。妊婦や子育て中の母子にやさしい町をめざし、事業を実施した。</p>
提案者	<p>自治体の長 母子保健担当者</p>
事業のねらい・目標	<p>住民が妊娠や子育てに関心と思いやりを持ち、行動できる。 ■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する</p>
数値目標	<p>数値目標なし</p>
事業対象	<p>新生児 乳児 幼児 学童 思春期 父親 母親 妊産婦 家族 関係者 関係機関</p>
実施期間	<p>平成 18年 6月 ～ 未定</p>
内容	<p>町掲示板や交通機関、金融機関、コンビニ、スーパー、医療機関等にポスターを掲示し、住民全体へのマタニティマークの知識普及を図る。 〈協力機関・掲示場所〉 ・従業員が300人以上の企業10社 ・JR 東日本 3駅 ・郵便局 3局 ・銀行 5社6店 ・コンビニエンスストア 5社19店 ・ドラッグストア 2社3店 ・スーパー等 13店 ・医療機関 17件 ・民間保育園 1園 ・町関係機関 子育て支援センター 保育園 3園 公民館 3館 コミュニティバス 町内掲示板56箇所 庁舎内掲示板 広報や町ホームページにもPRを掲載した。</p>
実施内容	<p>■その他</p>

協力機関	<p>子育て支援センター 保育園 病院 診療所 その他(交通機関、コンビニ等)</p>
住民参画状況	<p>なし</p>
従事者内訳	<p>保健師 事務職員</p>
補助金・助成金	<p>なし</p>
事業の評価	<p>「最近このマークを良く見ます」など、妊婦さんやその夫から喜ばれた。ポスターの掲示をお願いした際に、「妊娠の初期は外から判りにくいものね」など、快く協力していただいた。</p>
今後の課題	<p>〈今後の方針〉 H19年4月から、母子手帳と一緒にマタニティマークキーホルダーを配布予定である。</p>
取り組みの事業に関するホームページ	<p>http://www.town.samukawa.kanagawa.jp</p>
キーワード	<p>マタニティマーク</p>
コメント	<p>**** コメント **** マタニティマークとは、妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけることにより、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするためのものである。従来から市町村での取り組みがそれぞれなされていたが、平成 18年に国としてのマタニティマークの選定を行い、「健やか親子 21」でこの活動の普及に努めている。現在、広く国民の関心を喚起するために、交通機関、職場、飲食店、その他の公共機関等に、その取り組みや呼びかけ文を付してポスターなどとして掲示することが求められているにも拘わらず、現状は保健・医療機関、行政機関以外で目に留まることは少ない。本事業は、町掲示板や交通機関、金融機関、コンビニ、スーパーなど積極的に掲示場所を広げ、マタニティマークの知識普及を図っているところが高く評価できる。(KT)</p>

ポスター掲示の様子



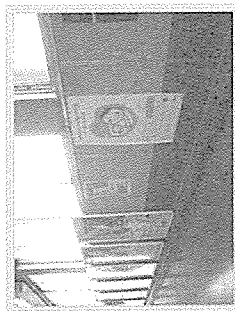
〈健康課〉



〈母子手帳のPR〉



<駅構内>



<駅通路>



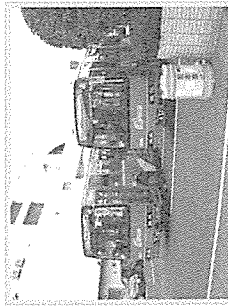
<駅長室前>



<協カスターパー>



<町掲示板>



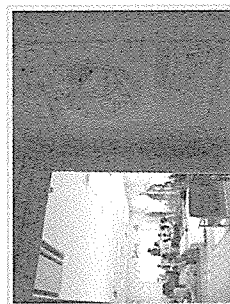
<町コミュニティバス>



<コミュニティバス内>



<授乳室>

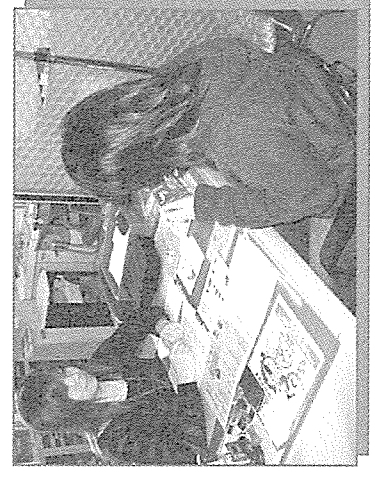


<子育て支援センター>



<p>沼津市健康づくり課：妊産婦禁煙支援事業</p>	
住所	〒410-0881 沼津市八幡町97 (TEL)055-951-3480 (FAX)055-951-5444 (E-Mail)kenkou@city.numazu.shizuoka.jp
人口	210,000人(出生数1,800人)
母子保健担当者	保健師 栄養士、全保健師数 29人(母子保健担当保健師数 10人) 区分:市町村(保健センター等)
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 ■ 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備
事業の背景	<p>沼津市は妊婦の喫煙率が高く禁煙のための支援情報が少なく、受動喫煙対策は実施していなかった。しかし、「しずおか健康創造21」ではこの対策が重点となり、禁煙支援プログラム等指導体制が整備された。</p> <p>また、「第二次沼津市保健計画」でもたばこ対策が位置付けられているため、東部健康福祉センターと平成17年度からモデル事業として「妊産婦禁煙支援事業」を実施した。</p>
提案者	母子保健担当者 その他(東部健康福祉センター)
事業のねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 妊娠中から育児期間の親と子の心身の健康とたばこの影響を考える。 ② 妊産婦の喫煙ゼロ、受動喫煙ゼロを目指し、妊産婦とその家族の禁煙に必要な支援を実施する。 ■ 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める ■ 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する ■ 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する
数値目標	数値目標あり
事業内容	<p>新生児 乳児 幼児 父親 母親 妊産婦 家族</p> <p>平成 17年6月～平成 21年3月 4年計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 母子健康手帳交付時 問診票を記入してもらい、妊婦とその家族の喫煙状況を調査する。喫煙者にはいきいきモニタを実施してCO濃度を測定する。リーフレットを用いて禁煙指導・相談を行い禁煙の意志があれば禁煙宣言をもらう。受動喫煙の状況や環境改善の情報提供を行う。 ② 妊娠中の支援 文書、電話、訪問支援を行う。 ③ 出産後、新生児訪問時の支援 妊娠中、産後の禁煙状況を調査票に記入してもらい把握する。禁煙できた産婦には記念品を授与する。 ④ 育児中の支援 禁煙の相談は電話、窓口で随時対応。乳幼児健診時に状況を把握し禁煙指導を実施。 ■ 相談機能の強化 ■ 個人支援や集団支援のツール開発 ■ ネットワークの推進 ■ 人材育成の強化(研修等) ■ 調査・研究

協力機関	保健センター・保健所 病院 診療所
住民参加状況	なし
従事者内訳	保健師 助産師 その他(看護師)
補助金・助成金	なし
事業の評価	禁煙できた妊産婦の割合
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 受動喫煙の害と環境の改善を徹底させるための周知手段を増やす。 ② 禁煙教室、仲間づくりを中心とした支援プログラムの実施。 ③ 幼稚園、保育園等での家族に対する禁煙支援の拡大。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	タバコ、禁煙支援、受動喫煙
コメント	<p>***** コメント *****</p> <p>ここに注目！ 妊産婦の喫煙ゼロを目指して、母子健康手帳交付時から一貫した事業をおこなっている。母子健康手帳交付時に調査を行い、妊婦とその家族の喫煙状況を把握する。喫煙者にはCO測定を行っており、一歩踏み込んでいるところが評価できる。その後も追跡を行い、禁煙成功者には記念品を贈るなどしている。このように、妊娠中の喫煙は、低出生体重児のリスクとなっており、さらには出生後も肥満などのリスクとエビデンスは？妊娠中の喫煙は、低出生体重児のリスクとなっており、さらには出生後も肥満などのリスクとなっており、妊娠中に始まるこのような事業の効果は大きいと考えられる。(KS)</p>



<p>安城市保健センター：マタニティサロン</p> <p>住所 〒446-0045 安城市横山町下毛賀知 106 番地1 (TEL)0566-76-1133 (FAX)0566-77-1103 (E-Mail)kenko@city.anjo.aichi.jp (ホームページ)http://www.city.anjo.aichi.jp</p> <p>人口 173,883 人(出生数 1,971 人) 母子保健担当者：事務 保健師 栄養士 歯科衛生士 その他(助産師) 全保健師数 23 人(母子保健担当保健師数 7 人) 区分：市町村(保健センター等)</p>	
事業課題	<p>■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援</p>
事業の背景	<p>子育て世代の孤立化。育児支援体制の基礎作りの必要性。</p>
提案者	<p>母子保健担当者</p>
事業のねらい・目標	<p>・妊婦同士の交流を通して不安を自ら解決する力が高められる。 ・友達作り。</p> <p>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</p>
数値目標	<p>数値目標なし</p>
対象	<p>その他(妊婦)</p>
実施期間	<p>平成 18 年 4 月 ~ 平成 25 年 3 月 7 年計画</p>
実施内容	<p>対象者は妊婦。月に1回待合ホールを開放、自由に過ごしてもらおう。おばあちゃんボランティア「センターのばあば」や、妊婦同士のおしゃべり、読み聞かせ、わらべうた教室の実施。 同日開催の4か月児健診見学ツアーを実施し、4か月児の母子とふれあう。</p>
事業内容	<p>■個人支援や集団支援のツール開発</p> <p>その他(市立図書館)</p> <p>なし</p> <p>住民参画状況</p> <p>従事者内訳</p> <p>保健師 助産師</p> <p>補助金・助成金</p> <p>なし</p>
事業の評価	

今後の課題	
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	<p>マタニティ、妊婦、仲間作り、育児支援、サロン</p>
コメント	<p>***** コメント *****</p> <p>ここに注目！妊婦に対して、妊婦教室、プレパパママ教室など、全国各地でさまざまな行事が行われているが、どの事業もほぼ大差ないのが現状である。本事業は、マタニティサロンとして妊婦を対象にホールを開放し、自由に過ごしてもらうものだが、同じ日に4ヶ月児健診を実施している点に注目した。4ヶ月児健診見学ツアーを開催し、4ヶ月児の母子と触れ合う機会を設けている。日程を重ねることで簡単に実施できることから、他自治体の参考になる事業であろう。(KS)</p>

安城市保健センター

マタニティサロンのご案内

こんにちは。ようこそいらっしゃいました。
ここでは妊婦さんが、ほっと一息つく場所です。
妊婦さん同士、お話しを聴かせてみてはいかがでしょうか？
どうぞ、ごゆっくりお過ごしください。

今後のマタニティサロン

18年	5月	17
	6月	14
	7月	12
	8月	9
	9月	13
	10月	4
	11月	8
	12月	13
19年	1月	17
	2月	14
	3月	7

4健（4か月児健診）ツアーのご案内

本日、希望の方を募り、3階で4か月児健診ツアーを行います。これは、4か月児健診の待ち時間を利用して、赤ちゃんを持つ保護者の方と妊婦さんがおしゃべりを楽しみ、可能であれば、赤ちゃんをたっさせさせていただくというものです。スタッフが引継いだしますので、お気軽にご参加ください。
ご出席後は、赤ちゃんを選んで「赤ちゃんサロン」にぜひお越しください

マタニティサロン アンケート... お申し込みはご協力が願います！

- どちらからのお申し込みですか？ () 町
- 日中、育児協力を頼めどうな方法(探検等)は、どちらにお住ですか？
①安城市 ②近頃 ③遠方
- どのようにしてこのサロンのことをお知りになりましたか？
①母子手帳交付時 ②は親あししよう ③その他 ()
- 今回は何回目の参加ですか？
①はじめて ②2回目 ③3回目以上 () 回
- 現在妊娠期間ですか？
①初産・経産 () 人目の子 ②否 () 週
- いらっしゃる目的は、どのようなものですか？
①安城市以外に出産できる場所がほしいから ②相談者をつくりたいから ③その他 ()
- 妊娠中、よくお出かけに参るところはどこですか？
①産婦人科の相談施設など ②他にない ③その他 ()
- 今日、サロンに参加されて、気分転換はできましたか？
①十分にできた ②あまりできなかった ③できなかった
- 今日、サロンに参加されて、お話を聴きたい内容や疑問に対し、心が軽くなりましたか？
①十分に軽くなった ②軽くなった ③あまり軽くなかった ④軽くなかった
- 結果の振り返りにおきまして参加された満足度をお聞かせください。
①十分に満足した ②満足した ③あまり満足しなかった ④満足しなかった ⑤参加していません
- 4か月児健診見学ツアーに参加された満足度を教えてください。
①十分に満足した ②満足した ③あまり満足しなかった ④満足しなかった ⑤参加していません
- アンケートの答え...自由に書いてね！

<p>福山市保健所 健康推進課：福山市すこやか育児サポート事業</p>	
住所	〒720-8512 広島県福山市三吉町南二丁目11番22号 (TEL)084-928-3421 (FAX)084-928-3423 (E-Mail)kenkou-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp
人口	記入なし(出生数 記入なし)
母子保健担当者	保健師、全保健師数 76人(母子保健担当保健師数 50人)
区分	政令市・特別区(本庁・保健所等)
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 ■子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減 ■健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ(栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)
事業の背景	<p>子育て家庭を取り巻く環境の変化により、子育てに関して悩みや不安感、児童虐待の疑いがあり支援の必要なハイリスク家庭が増えている。</p> <p>このような状況の中、妊娠中から子育てに関して気軽に相談できるシステム作りの必要性から本事業を開始した。</p>
提案者	母子保健担当者
事業のねらい・目標	<p>妊産婦等に対し、小児科医等による育児に関する保健指導を受けられる機会を提供することにより、育児上の不安解消を図る。また、医療、保健、福祉関係機関の連携による子育て支援システムを構築し、地域の母子保健対策の充実を図る。</p> <p>■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する</p>
数値目標	数値目標なし
事業対象	<p>新生児 乳児 妊産婦 関係者</p> <p>その他(育児不安が高いなど継続支援が必要な妊婦及び、満1歳までの児を持つ産婦とその家族)</p>
実施期間	平成16年4月～未定
実施内容	<p>協力医療機関の産婦人科、小児科医と市保健師が協力し、小児科医による相談や保健師による家庭訪問等による保健指導を実施するもの。</p> <p>■相談機能の強化 ■ネットワークの推進 ■ケアシステムの構築</p>
協力機関	児童相談所(子ども家庭センター) 病院 地域のボランティア その他(民生委員・児童委員)
住民参画状況	実施主体側として
従事者内訳	保健師 医師 事務職員

補助金・助成金	その他(次世代育成支援対策交付金 1/2 補助)
事業の評価	<p>評価方法: 実施結果(相談内容など)及び集計の分析</p> <p>評価結果: 相談内容は育児サポート不足、保護者の精神疾患、育児についての不安など子どもの虐待のハイリスク因子とされるものが9割程度の事例で把握されていることから児童虐待予防に効果的な事業である。</p>
今後の課題	事業の充実、拡大(参加医療機関の拡大、件数の増加、関係機関との連携の強化等)を図る。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	育児不安
***** コメント *****	<p>ここに注目! 育児不安の解消を目的に、妊娠中から小児科医による育児に関する相談などの機会を設けている。母親の育児不安の軽減に加えて、本事業では児童虐待のハイリスクを早期に把握することも行っており、育児サポート不足、保護者の精神疾患、育児についての不安などのハイリスク因子が9割程度の事例で把握されている。産婦人科・小児科の連携を市が中心に進めている点は評価できる。</p> <p>エビデンスは? 今後参加医療機関の拡大や、件数の増加が課題となっており、経時的にハイリスク因子の把握割合などを追跡することで、連携の強化が持つ効果を評価することが可能であろう。(KS)</p>



☆すこやか育児サポート事業を知っていますか? ☆

産婦人科医、小児科医、市町保健師が協力し、妊娠中から乳児期の子育ての不安や疑問にお答えするため、無料の相談や訪問を行うものです。

◇対象 象・赤ちゃんのごとで心配のある妊婦さん、1歳までの子どもさんの育児について心配のあるお母さん及びご家族の方。
(福山市・鞆中市・神石高原町在住の方がご利用できます。)

◇内容 産婦人科医、小児科医、市町保健師の紹介により小児科医の保健指導、または市町保健師の家庭訪問等による保健指導を無料で受けることができます。

◇申込方法 居住地の市町窓口、または、このチラシに記載している産婦人科及び小児科の協力医療機関にお申し出ください。
※小児科での保健指導は事前の申し込みが必要です。

◇費用 無料



長崎市地域保健課：妊産婦歯科保健指導事業	
住所	〒850-0031 長崎県長崎市桜町 6-3 (TEL)095-829-1153 (FAX)095-829-1221 (E-Mail)kenko@city.nagasaki.jp
人口	421,458人(出生数 3,496人)
母子保健担当者	事務 保健師 栄養士 歯科衛生士 その他(助産師、看護師) 全保健師数 50人(母子保健担当保健師数 8人) 区分:政令市・特別区(本庁・保健所等)
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援 ■ 子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減
事業の背景	<p>一般に妊娠中は歯周疾患等歯科疾患が重症化する傾向が認められます。また、妊娠7週ころから胎児の乳歯の基礎作りが始まり、乳歯の形成には妊娠中の食生活、母体の健康状況が反映します。更に、生まれてくる子どものむし歯を中心とした歯科疾患の予防と口腔の健全発育は、母親の手に委ねられています。</p> <p>従来から、本市2か所保健センターにおいて母親学級を実施し、その中で歯科保健の啓発も行っていましたが、その事業への参加者は少なく、結果として対象者に対する歯科保健情報の発信が不十分でした。</p>
提案者	その他(長崎市歯科医師会)
事業のねらい・目標	<p>歯科と産婦人科との連携を本市が支援し、対象者が受講しやすい産婦人科のマタニティ教室において、歯科保健教室を開催することで、妊産婦及び乳幼児の歯科保健の向上を図ります。</p> <p>■ 住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>
数値目標	数値目標なし
対象	妊産婦
実施期間	平成18年4月～平成23年3月 5年計画
事業内容	<p>歯科医師、歯科衛生士による産婦人科のマタニティ教室における歯科保健教室の実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊産婦及び乳幼児に対する歯科保健指導 2) 簡易な口腔疾患感受性検査 3) 妊婦及び乳幼児に対するブラッシング指導等 <p>■ 既存事業の工夫 ■ ネットワークの推進</p> <p>診療所 その他(産婦人科・歯科医院)</p>
協力機関	なし
住民参画状況	なし
従事者内訳	歯科医師 歯科衛生士
補助金・助成金	国

事業の評価	
今後の課題	
取り組みの事業に関するホームページ	http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/kenko/
キーワード	歯科保健 診診連携 育児不安軽減
コメント	<p>***** コメント *****</p> <p>ここに注目！妊娠中に歯周疾患が悪化すること、さらには歯周病と早産などの関連も指摘されており、妊娠中の歯周ケアに対する関心が高まっている。しかしながら、妊婦に対する歯科健診はあまり行われておらず、行われていても受診率の低さなどが指摘されている。本事業では、産婦人科のマタニティ教室を利用して歯科保健教室を実施しており、より多くの妊婦に対するの介入が可能であると考えられる。このように医療機関と連携して、より多くの対象者を確保しようとして試みている点が評価できる。</p> <p>エビデンスは？妊娠中の歯周病については、前記のように切迫早産、早産、早産低出生体重児との関連が、さまざまな文献で指摘されている。このような事業により早産予防が可能になれば、喫煙に加えて、地域レベルでのさらなる周産期予後の改善が可能であろう。(KS)</p>

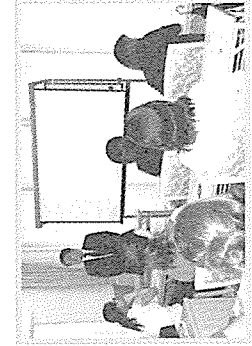


ハッピーベビー
唾液テスト



ハッピーベビー
講話

ハッピーベビー
ブラッシング指導

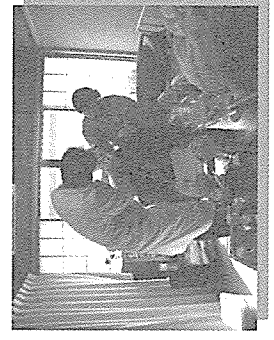
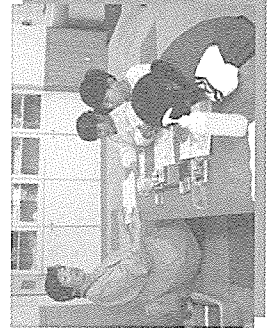
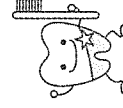


「小児保健医療水準を維持・向上
させるための環境整備」



<p>島田市健康づくり課：フッ素洗口法普及事業</p> <p>住所 〒427-0041 静岡県島田市 283-1(中河町) (TEL)0547-34-3283 (FAX)0547-34-3289 (E-Mail)kenkou@city.shimada.shizuoka.jp (ホームページ)http://www.city.shimada.shizuoka.jp/ 人口 98,000人(出生数 900人) 母子保健担当者：保健師、全保健師数 20人(母子保健担当保健師数 4人) 区分：市町村(保健センター等)</p>	
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ■小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 ■健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ(栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)
事業の背景	本市における DMF 歯数は、小中学校とも年を追う毎に減少しているが、県平均と比較するとまだ高い。 平成 5 年度から一部の小学校で実施しているフッ素洗口法は、むし歯予防の効果を示しているため、対象者の拡大を図り、DMF 歯数の低下、ひいては歯科保健意識の高揚をはかる。
提案者	住民 母子保健担当者 その他(島田市歯科医師会)
事業のねらい・目標	<p>幼児・小学生を対象にフッ素洗口法を応用したむし歯予防を行い、対象者及びその保護者の歯科保健に対する意識の向上と、歯科疾患の罹患率の低下を図る。</p> <p>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>
数値目標	数値目標あり
対象	幼児 学童 思春期 父親 母親 家族
実施期間	平成 15 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月 4 年計画
実施内容	小規模校(四校)でフッ素洗口を実施している。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■既存事業の工夫 保健センター・保健所 保育園 学校 その他(島田市歯科医師会) その他(個人レベルの意見として事業拡大の意見を聴取している) 保健師 歯科医師 歯科衛生士 薬剤師 その他(看護師) 都道府県 補助金・助成金
事業の評価	<p>対象者は年 1 回歯科健診を受診し、う歯罹患率、DMF 歯数他歯科保健指標の評価を行う。また、歯のフェスティバルでは歯科保健に関する意識アンケートを行い、歯科保健意識の評価を行う。</p> <p>◇小学校のデータは以下のとおり(18 年度) <有病者率> 実施校・・・14.8% 未実施校・・・26.9% <DMF 歯数> 実施校・・・0.3 未実施校・・・0.6</p>

<p><DMF 歯数減少率> 実施校・・・81.8% 未実施校・・・67.9%</p> <p>◇中学校のデータは以下のとおり(18 年度) * 中学校ではどこもフッ素は実施していないが、小学校で実施している四校の卒業生がほとんど入学する中学校があり、その中学校との比較データ。 <有病者率> 実施校・・・45.6% 未実施校・・・67.3% <DMF 歯数> 実施校・・・1.2 未実施校・・・2.6 <DMF 歯数減少率> 実施校・・・76.4% 未実施校・・・51.3%</p> <p>上記より、フッ素洗口の効果は明らかで、罹患率に違いが大きくあらわれている。 対象者の拡大を図るとともに、通所方式で行っている会場については、対象者が継続できる意識啓発をはかる。</p>	<p>今後の課題</p> <p>小児 母子保健 栄養 運動 食生活 歯</p> <p>**** コメント ****</p> <p>フッ素洗口の普及について、公民館を会場に実施し、また実施会場を増加させている点特徴的である。小児の齲歯予防のために、フッ素物の使用が有効であることは国際的にエビデンスが確立している。フッ素洗口は、学校をベースにして、給食の後に一斉に実施するなどの形で行われることが多い。一方で、フッ素物を過剰摂取した場合の有害作用に関する報告も散見されるため、我が子にはフッ素物を使用したくないと考える親もいる。学校をベースにした場合には、集団の中で特定の子供だけ参加しないことは困難であるため、学校をベースにしたフッ素洗口事業に否定的な考え方もある。その代替案として、この事例のような地域ベースの事業の試みが考えられる。その場合、学校ベースと比較して、参加割合や、フッ素洗口の実施頻度を高くすることなどがなかなか困難であると考えられる。地域ベースのフッ素洗口事業が、学校ベースと同等の効果を上げることができると、今後の評価結果に期待したい。(TO)</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

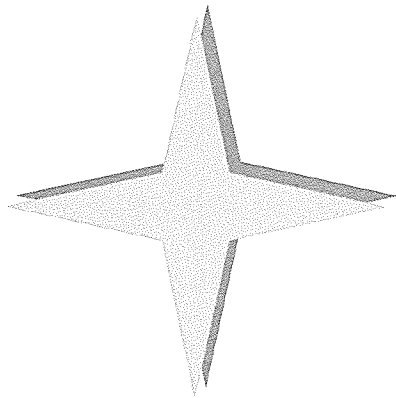


保健福祉センターで実施の様子

和泊町子育て支援課：障害児療育等旅費助成事業	
住所	〒891-9112 鹿児島県大島郡和泊町和泊 10 番地 (TEL)0997-92-1111 (FAX)0997-81-4040 (E-Mail)kensyu-@town.wadomari.kagoshima.jp
人口	7,620 人(出生数 81 人)
母子保健担当者	保健師 その他(看護師)、全保健師数 4 人(母子保健担当保健師数 1 人)
区分	市町村(保健センター等)
事業課題	■小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備
事業の背景	本町は離島にあり、障害児が島外の専門的な機関で療育を受けるには、保護者の経済的負担が大きい。
提案者	住民
事業のねらい・目標	障害児の療育、医療を目的として島外の病院、診療所、薬局その他の療育機関で療育を受けた際に、必要な旅費等を助成し、保護者の経済的負担を軽減することにより、障害児を持つ家庭の福祉を図ることを目的とする。 ■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する
数値目標	数値目標なし
対象	その他(島外の医療機関等で療育を受けることが必要である旨の診断書等を発行され、島外の医療機関等で療育を受けた児童及びその付添いをし保護者 1 名。療育については、和泊町療育センター「のびのび」に通園している児童)
実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 2 年計画
事業内容	同一年度内 1 回を原則とし、その船舶旅費 2 等実費と宿泊料 2 泊分相当(町の規定による)を助成する。
協力機関	■その他(助成金の支給)
住民参画状況	病院 その他(和泊町療育センター「のびのび」)
従事者内訳	なし
補助金・助成金	事務職員 市町村

事業の評価	
今後の課題	
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	療育
コメント	***** コメント ***** 離島の町において、島外の医療機関での療育が必要な子どもについて、船舶旅費及び宿泊料を助成する制度であり、ユニークである。日本中、どこに住んでいたとしても、一定水準以上の必要な保健医療サービスを受けられることは、基本的人權のひとつであると考えると考えられる。離島を含めた、へき地における一般的な医療については、へき地診療所の開設等によって、数十年前と比較するとかなり確保されてきている。一方で、障害児の療育を含めた特殊な医療については、有る程度の人口規模毎に整備せざるを得ない。同じへき地でも、地続きな場合には、例えば県庁所在地の都市まで、日帰りができる地域が多いが、離島については、日帰りが困難な地域も多い。そのような地域の住民にとつて、このような制度は、非常に重要であると考えられる。なお、和泊町は、人口 15,000 人弱の沖永良部島にある人口 7,000 人余りの町でありながら、町内に保育所内設置の療育センターも整備して、障害児の療育に取り組んでいる点もとても良い。(TO)





「子どもの心の安らかな発達促進と 育児不安の軽減」

<p>会津保健福祉事務所健康福祉部保健福祉グループ児童家庭支援チーム : 育児不安を持つお母さんへのグループミーティング事業</p>	
<p>住所 〒965-0873 福島県会津若松市追手町7番40号 (TEL)0242-29-5278 (FAX)0242-29-5289 (E-Mail)aidu.hokenfukushu@pref.fukushima.jp (ホームページ)http://www.pref.fukushima.jp/aizuhofuku/</p>	
<p>人口 285,402人(出生数 2,397人) 母子保健担当者: 保健師、全保健師数 19人(母子保健担当保健師数 6人) 区分: 都道府県保健所</p>	
事業課題	<p>■子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減</p>
事業の背景	<p>近年の少子化や核家族化などにより母子をめぐる様々な環境の変化が、社会的な母子の孤立や育児不安を増長させ、育児を困難にしているため</p>
提案者	自治体の長
事業のねらい・目標	<p>母親等が抱えている問題に自ら気づき積極的に取り組めるようにするとともに、孤立した母親同士をつなぎ、支え合うことができるようにすることにより、虐待等の不適切な関わりを未然に防ぎ育児を楽しむに転換させていくことができる</p> <p>■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める</p>
数値目標	数値目標なし
対象	新生児 乳児 幼児 母親
実施期間	平成 17 年 4 月 ~ 未定
実施内容	<p>1. 完全な母子分離による母親等同士のミーティング。 臨床心理士(親の観察)と保健師(ファシリテーター)により実施する。 2. 見についても、発展等のつまづきがないかの確認を心理判定員・保健師・保育士で行う。 3. 母親等の状態によっては精神科医師の助言を得られる体制をとっている。</p>
事業内容	<p>■既存事業の工夫 ■相談機能の強化 ■個人支援や集団支援のツール開発 ■人材育成の強化(研修等)</p>
協力機関	児童相談所 子育て支援センター 病院
住民参加状況	なし
従事者内訳	保健師 医師 保育士 その他(臨床心理士 心理判定員)
補助金・助成金	国
事業の評価	<p>1. 母の状態の変化については南多摩保健所作成の「虐待要因チェックシート」を使用して量的質的に評価 2. 市町村における対象者の把握状況(主に乳幼児健康診査におけるスクリーニング)と支援状況</p>

取り組みの事業に関するホームページ	<p>http://www.pref.fukushima.jp/aizuhofuku/</p>
今後の課題	<p>対象者把握のための、市町村における乳幼児健康診査の充実と個別支援の強化(児の発達・発達・疾患の早期発見のみでなく、母の育児に対する気持ち等を丁寧に聴き取ることににより、個別支援を強化する)</p>
キーワード	<p>育児不安 育児困難 乳幼児健康診査 虐待予防</p>
コメント	<p>ここに注目！ 県型保健所と市町村が協働で行っている親支援ミーティングである。地区担当保健師の継続的な個別支援と平行して個人の成長を助けるためにグループの力を利用する。会津では県や医療機関のスタッフが中心となりミーティングの場所として市の保健センターが入ったり、受理ミーティングや研修会も行ったりと、県の保健師がいつしよにグループミーティングの場所として市の保健センターが利用されているが、地域によっては、県と市町村から市への個別支援のサポートに繋がっている場合もある。県型保健所が市町村の保健センターの個別支援をサポートする目的に利用することもできる。</p>
エビデンスは？	<p>この事業では、「虐待要因チェックシート」を用いて母の状態変化に対する評価と、市町村における対象者の把握状況や支援状況の評価とのふたつの視点から分析が行われている。こうしたグループミーティングの評価は、参加者数などの単純な数値評価で行うべきでない。評価に必要なのは、次の2つの視点である。①地域ニーズにあった事業であったか、関係機関への周知は適切であったかなど地域資源の1つとしての存在意義を示すための評価、②グループダイナミクスを使っている個人の成長を阻む事業であることから個々の対象者の変化を捉える評価(中板育美:児童虐待の発生予防-進行防止を目指す在宅子育て支援のあり方に関する研究。～「育児支援家庭訪問事業」および「親支援グループミーティング」を通して～平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業報告書。平成 18 年 3 月)この事業の評価には、その両者がバランスよく盛り込まれている。(YY)</p>

グループミーティングの様子



グループミーティング・・・って？

最近、子育てを手助けしてくれる人も少なくなり、厳しい子育て環境になっています。
「お母さんなんだから・・・」「親なんだから・・・」と頑張らずでいませんか？

「自分だけの母親では・・・？」「なんて誰にも言えず、不安な日々を過ごしていませんか？
24時間休みなく続く子育てでは、子どものかわいさや育児の楽しさを感じることが多い反面、不安や悩みがつきまとい、頑張ってもどうにもならない状況におちいってしまうこともありますよね？

『グループミーティング』は、似た体験を持つ仲間（お母さん）との出会いと交流の場です。
グループミーティングでは、決められた時間のなか、集まったお母さん方が感じていること、悩んでいること、夫や子どもなど、話したいことだけを話していきます。もちろん、話したくないときは、聞いただけでも大丈夫です。この出会いや交流によって、あなたの気持ちが少しでも楽になり、安心につながるようにと企画しました。

いつ？ ①5月24日(水) ② 6月21日(水) ③ 7月13日(木) ④8月24日(木)
⑤9月27日(水) ⑥10月26日(木) ⑦11月30日(木) ⑧12月21日(木)
H19年 ⑨1月24日(水) ⑩ 2月21日(水) ⑪ 3月 7日(水)

時間は？ 10:30～12:00
〔 10:00～10:30はお子さんと一緒に遊んだり、お子さんが場所に慣れるようウォーミングアップをします 〕

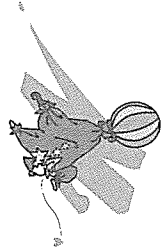
どこで？ 会津坂下町健康管理中心
研修室・お母さん方のグループミーティング
多目的ホール・お子さんの託児
※お母さん方が少しの間ですがゆくり話せるように保育士が託児を担当します。
(☆ 住所：会津坂下町字五反田 1295-1 ☆ 電話：0242-83-1000)

ルールは？ 他の人が話したことを外へもさらさないこと
他の人が話したことを批判しないこと

費用は？ 無料です。

参加については、強制や制約はありません。
ご不明な点は、下記までご連絡ください。

会津保健福祉事務所 児童家庭支援チーム 電話 0242-29-5278
会津坂下支所 電話 0242-83-3131



【コラム 保健機関が行う親支援ミーティング PSG: parents support group】

保健機関が行う親支援ミーティング(PSG)を、その対象者や内容から2つに区別する考え方が提唱されている。

- ① MSG(mother's support group):0 歳児を持つ親の育児不安や育児困難な母親などを対象として育児不安の軽減、育児スキルの向上や情報交換、孤立感の解消と仲間作りを行うもの。市町村保健センターなどを中心として広まりつつある。
- ② PCG(parents and child group): 軽度・中等度の虐待例であるが在宅でスタッフとの間に信頼関係のある人、育児ストレスで虐待危機にある人、被虐待体験者などを対象としたグループミーティング。ミーティングの場での無条件の安全と安心の獲得、人間関係を結ぶことができたり経験、ありのままの自分が受け容れられた体験などを通して、孤立や罪責感から開放され、具体的な育児スキルや子育て生活の工夫を、日常に取り入れることを目指すものである。比較的広域な地域を担当する県型保健所が個別支援を担う市町村保健センターとの協働で運営される例が多い。

保健機関で行う親支援ミーティングと他の親支援プログラムとの違いとしては次のような特徴がある。まず、育児サークルや子育て広場などの一時予防的「育児グループ」との違いは、PSG がむしろそのような場所に行くことのできない人たちへの支援である点にある。また、民間団体などで運営されている MCG(mother and child group)とは、PSG が公的責任において個別支援との両輪で支援を行う点で区別できるといわれている。

『親支援グループミーティングガイドライン』(編集：中板育美、藤原千秋、佐藤睦子。上記研究報告書に掲載)より引用。



糸魚川市健康増進課：祖父母・地域の子育て教室	
住所 〒941-8501 糸魚川市一の宮 1-2-5 (TEL)025-552-1511 (FAX)025-552-8250 (E-Mail)mail@city.itoigawa.niigata.jp (ホームページ)http://www.city.itoigawa.niigata.jp/	
人口 50,908 人(出生数 355 人) 母子保健担当者：保健師 栄養士、全保健師数 14 人(母子保健担当保健師数 3 人) 区分：市町村(保健センター等)	
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減 ■健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ(栄養・食生活の改善・身体活動・運動の推進・歯の健康の推進)
事業の背景	祖父母世代の育児力の低下、育児環境の変化に伴うギャップがある。ミルク、おやつとの与えすぎ、抱き癖の否定など、祖父母が母親の育児に混乱をきたしているケースが多い。また、逆に昔の健やかな育児が伝承されていない。
提案者	母子保健担当者 その他(親子保健計画策定委員会)
事業のねらい・目標	<p>家族以外にも相談できる人が増える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 祖父母が子育て・母親支援を行うことができる 2. 地域も子育てに関わる <ul style="list-style-type: none"> ■住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める ■住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する ■住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるように支援する
数値目標	数値目標あり
対象	新生児 乳児 幼児 父親 母親 妊産婦 その他(祖父母) 家族 関係者・関係機関
実施期間	平成 17 年 4 月 ～ 平成 22 年 3 月 5 年計画
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 祖父母孫育て教室(母乳) 2. 子育てサポーター育成・活用(既存の組織の活用) 3. 昔の子育て(おんが・抱っこ)伝承 <ul style="list-style-type: none"> ■既存事業の工夫 ■相談機能の強化 ■ネットワークの推進 ■人材育成の強化(研修等)
協力機関	保健センター・保健所 福祉事務所 子育て支援センター 地域のボランティア
住民参画状況	計画から参加 実施主体側として
従事者内訳	保健師 栄養士 助産師 保育士 その他(生涯学習担当事務職員、子育てサポーター、人権擁護委員)
補助金・助成金	なし

事業の評価	平成 22 年度に再度子育てアンケートを行い、現状との数値比較を行う。
今後の課題	祖父母世代の事業参加率が低い。子育て世代と地域との交流の機会が少ない。 ⇒積極的に参加・交流できる事業展開が必要。
取り組みの事業に関するホームページ	
キーワード	祖父母 地域
*** コメント ***	<p>ここに注目！ 三世交代交流により、祖父母が子育てや母親支援に参加し、家族以外にも相談できる人が増えることを目指した事業である。特に、祖父母のための孫育て教室(母乳)と昔の子育て(おんが・抱っこ)伝承はユニークである。</p> <p>エビデンスは？ こうした祖父母の子育てへの参加を促す事業は、鶴川明子：孫育てセミナー 育児支援としての祖父母へのアプローチ 保健師ジャーナル 61(4):330-334、2005。などにも見られるものの、母子保健分野では実際はそれほど多くない。この事業でも、「祖父母世代の事業参加率が低い」ことが課題となっている。少子高齢化社会の中、三世代のすべてにメリットが考えられるだけに、こうした経験やその有用性が、このデータベースによって広まることを期待したい。</p> <p>(YY)</p>
【コラム 「医学中央雑誌」と「取り組みのデータベース」の違い】	<p>医中誌 web(特定非営利法人医学中央雑誌刊行会が運営するインターネット文献検索システム)では、「祖父母」と「孫」のキーワードから 17 件の文献が検索される(1983～2006 年)。論文の内容は、どちらかといえば「祖父母」側に偏っており、多くは孫や家族という客体を利用した高齢者の QOL や生きがいに視点があがる。</p> <p>一方、「取り組みのデータベース」(http://rhino2.yamanashi-med.ac.jp/torikumi-doc/)では、「祖父母」のキーワードで 55 件の事業がヒットし、「祖父母」と「孫」でヒットする事業は上記 2 事業を含めて 9 件であった(2007 年 1 月現在)。岐阜県加茂郡白川町のまごころ(孫心)教室、岡山県真庭郡美甘村の昔遊び集会(兼敵な子ども体験事業)、愛知県幡豆郡吉良町の祖父母会(前回レポート 2006 で掲載)、福島県石川郡古殿町の孫もり学級、佐賀県唐津市の孫育て教室、鳥取県東伯郡東郷町の孫育て講演会など、いずれもユニークで先進的な取り組みである。</p> <p>両者はデータベースも違うことから、その検索結果や利用方法が異なるのは当然である。ただ、こうして比較してみると、これまで埋もれたまま評価されずに消滅していた現場の情報の貴重さに気づかされ、その共有には取り組みのデータベースが有意義なツールだということができる。</p>